

CBI若手研究者のための、夏のフロンティア探索シリーズ

科学技術の世界では、これまでのナノ、バイオ、ITから量子情報計算、ポストゲノム医療、認知科学 Cognitive Science へと関心が広がっています。また、大学や国の研究機関の独立法人化に伴い人材市場も Post Doc. をはじめとする任期付きの研究職、専門職派遣が増え、流動化が著しく進んでいます。これらの変化の行き着くところは、科学研究職 Career のフロンティアの拡大です。ここにおいて拡大しつつある新しい分野にどう参入するか、Career Up の機会をどう探すか、新しい研究分野に必要な知識技能は何かを見極めることが大きな課題になっています。

CBI 学会はこのような時代認識に基づいて、とくに変革の大波に洗われている若手研究者の職の機会の探索、新しい研究領域としてとくに注目されている Bioinformatics のフロンティアを例とした Tutorial、新しい分野

の現状と展望という3つのテーマを3日間の夏季特別研究集会シリーズを企画しました。

これから社会は学校の卒業が Career Up の第一歩であり、専門知識と専門技能は働く場所を考えながら積み上げていく時代です。こうした時、なによりも頼りになるのは人のネットワークです。CBI 学会は最初述べたような時代認識に立ち、新しい社会的な使命と考えています。

このシリーズは CBI の関連分野を学びたい者、あるいはそうした仕事に就きたい者、新しい分野を探している者など異なる立場の方に有意義なものでしょう。8月20日には開催場所である理化学研究所の免疫・アレルギー科学総合研究センターの見学も検討されており、このシリーズに是非参加されまうようご案内いたします。

- ・ 8月18日(水) 13:10 - 17:40
人材育成シンポジウム「先端的学際領域の専門教育と仕事の機会」
日本化学会 化学会館7F ホール
- ・ 8月19日(木) 13:10 - 17:40
Tutorial「Omics と大規模データの解析」
理化学研究所 横浜研究所
- ・ 8月20日(金) 13:10 - 17:40
CBI 学会研究講演会「Omics と大規模データの解析」
理化学研究所 横浜研究所

「先端的学際領域の専門教育と仕事の機会」

開催趣旨:

最近IT、ゲノム、ナノなどの言葉が、先端的な技術分野として、マスメディアを賑わしている。この分野の専門家を志す学生や若手研究者も少なくない。こうした分野の専門性をどう身につけていくか、最初の仕事の口をどう探したらよいか、さらに任期付きの雇用条件の下で次の職をどう探すか、さらに一度就職しても自らの天職を求めてどう転職していくかなどについて、悩んでいる学生や若手研究者は少なくないであろう。CBI学会の人材育成事業の一環であるこのシンポジウムは、上記の分野の専門家、経験者をお招きして話を聞くことにより、広く状況を把握しながら考える機会を提供することをめざしている。学生社会人を問わず、関心のある方々の参加を期待する。

日時：2004年8月18日(水)13:10 - 17:40

会場：日本化学会 化学会館7Fホール 東京都千代田区神田駿河台1-5

世話人：神沼二真(広島大学量子生命科学プロジェクト研究センター)、田中成典(神戸大学)

協賛：(株)スタッフジャパン

プログラム:

13:10 - 13:15 世話人挨拶：開催趣旨

13:15 - 14:00 . 計算化学とバイオインフォマティクスの専門教育プログラム

広島大学における『ナノテク・バイオ・IT融合教育プログラム』

相田美砂子(広島大学)

学ぶ機会の情報

湯川真澄(CBI学会事務局)

14:00 - 15:55 . どういう人材が求められているのか？

- 仕事の現状と今後の展望 -

新しい時代に皆で考えたいこと

田中成典(神戸大学)

研究者としての経験から

下川和郎(理化学研究所)

異分野から生命科学へ：計算化学と実験の融合に向けて

福井一彦(産業技術総合研究所 生命情報科学研究センター)

製薬企業における計算化学とバイオインフォマティクスへの期待

多田幸雄(大鵬薬品、CBI学会会長)、堀内 正(第一製薬)

16:10 - 17:05 . 就職、転職、天職

人材市場の流動化、雇用の変化について(仮題)

宇梶純良((株)スタッフジャパン)

私の経験から

太田篤胤(城西国際大学)

どこに職の情報があるのか？

小宮山直美(CBI学会事務局)

17:05 - 17:25 . 総合質疑、討論

情報交換懇親会(参加費無料)軽い飲み物を用意する予定。

参加費：CBI学会の会員は無料。その他は資料代を含め、1,000円。

出席を希望される方は事前に必ず事務局セミナー受付 seminar@cbi.or.jp に連絡してください。

連絡先：CBI学会事務局 セミナー受付

〒158-0097 東京都世田谷区用賀 4-3-16 イイダビル 301

TEL:03-5491-5423 FAX:03-5491-5462 E-mail:seminar@cbi.or.jp http://www.cbi.or.jp/

Tutorial 「Omics と大規模データの解析」

日時：2004年8月19日(木)13:10 - 17:40

会場：理化学研究所 横浜研究所 交流棟ホール

横浜市鶴見区末広町1丁目7番22号 <http://www.yokohama.riken.go.jp/j/access.html>

(鶴見駅東口よりバスで「理研・市大大学院前」下車、徒歩1分)

共催：人工知能学会 生命知識研究会

プログラム：

13:10 - 13:20 世話人挨拶：開催趣旨

13:20 - 14:20 .ヒトゲノム情報入門

「ヒトゲノム情報の代表的入り口、ブラウザの使い方」

田中義智(東京医科歯科大学)

「タンパク質相互作用データベース代表的入り口、ブラウザの使い方」

長谷武志(東京医科歯科大学)

14:30 - 16:00 .GenomeOntology

高井貴子(東京大学)

16:15 - 17:15 .Pathway/Networkの解説

長谷川義和(ゲノム情報科学研究グループ)

ゲノム知識ベース研究開発チーム)

講演会参加費：法人賛助会員：無料

個人会員(非営利)：無料

個人会員(一般企業)：¥5,000

ビジター(非営利)：¥1,000 ビジター(一般企業)：¥10,000

出席を希望される方は事前に必ず事務局セミナー受付 seminar@cbi.or.jp に連絡してください。

連絡先：CBI学会事務局 セミナー受付

〒158-0097東京都世田谷区用賀4-3-16イイダビル301

TEL:03-5491-5423 FAX:03-5491-5462 E-mail:seminar@cbi.or.jp <http://www.cbi.or.jp/>

第245回CBI学会研究講演会(予告)

「Omics と大規模データの解析」

Omicsとは、DNAチップ(Transcriptomeの網羅的解析)、Proteomics、Metabolomics/Metabonomics、タンパク質相互作用などに代表される、ゲノム解析に関連した網羅的解析技術のことである。こうした技術の適用範囲は、拡大を続けながら、分子生物学の基礎から、毒性予測、医薬品開発、臨床におけるまで、もはや必須の技術になっている。しかし、これらの実験や試験から産生される膨大なデータの解析と解釈には、コンピュータの支援が不可欠である。こうした技法は一般にデータマイニングと呼ばれる。しかし従来のデータ解析の延長では極めて不十分であり、専門知識が深く解析に介在しなければならない。とくに注目されてきたのがCBI学会が強調してきたPathway/Networkのような知識システムを動員することである。この講演会は、このような視点を加味して、さまざまな新しい分野で活躍されている講師をお招きするこの研究集会を企画した。前日(8月19日)に企画されている若手のためのTutorialとともに、製薬企業の若手研究者の参加を期待したい。

日時：2004年8月20日(水)13:10 - 17:40

場所：理化学研究所 横浜研究所 交流棟ホール

共催：人工知能学会 生命知識研究会

世話人：河合隆利(エーザイ株式会社) 吉川澄美(理化学研究所)

プログラム(講師交渉中)

CBI 学会 2004 年大会

「ポストゲノム時代の創薬テクノロジー」

New Technologies for Drug Design and Discovery in the Post-Genome Era

ヒトゲノム解析の完了を受けて、CBI 2004 年大会では、wet(experimental) / dry(in silico) を含めたいろいろな「創薬テクノロジー」の新展開に焦点を当てて、

- 1) 新しい理論・手法・技術が創薬の現場でどのように適用されているか
- 2) 現在の手法・技術の克服すべき問題点とその解決法へのアイデア
- 3) 今後創薬に適用可能な理論、実験手法、技術

などについて、活発な発表・ディスカッションを予定しています。

実行委員長： 広野修一（北里大学 薬学部）

開催日時： 2004 年 7 月 28 日（水） - 30 日（金）

開催場所： こまばエミナース（東京都目黒区大橋 2-19-5）

<http://www.cbi.or.jp/taikai/2004/index.html>

.....

CBI 学会 2005 年大会（案）

大会のテーマ： Chem-Bio Informatics in Post Genome Era

実行委員長： 小長谷明彦（理化学研究所 ゲノム科学総合研究センター）

開催日時： 2005 年 7 月 25 日（月） - 27 日（水）（未定）

開催場所： 理化学研究所 ゲノム科学総合研究センター 交流棟ホール
横浜市鶴見区末広町 1 丁目 7 番 22 号
（鶴見駅東口よりバスで「理研・市大大学院前」下車、徒歩 1 分）

基調講演およびポスターセッション

招待講演：以下の分野ごとの招待講演を予定

- Computational Biology
- Bionetworks and Phenomics
- Immunoinformatics

共催： RIKEN Genomic Sciences Center (GSC)
International Immunomics Society (IIMMS)
Special Interest Group for Biomedical Knowledge (SIGBMK, JSAI)
Initiative for Parallel Bioinformatics (IPAB)